

地図をもっと活用しよう！ その4

～中学地理 日本を構成する主な島々や半島の形状等の認識～

『中学校学習指導要領解説 社会編』「(2)日本の様々な地域」の中項目「ア 日本の地域構成」の（内容の取扱い）に、「(ウ) 学習全体を通して、大まかに日本地図を描けるようにすること。」とあり、次のように解説しています。

「学習全体を通して、大まかに日本地図を描けるようにすること」（内容の取扱い）とは、（中略）日本を構成する主な島々の大まかな形状や位置関係が分かる程度の略地図が描けるようになることを意味している。（※下線は筆者）

日本の略地図を描くために必要な学習要素はいくつかありますが、今回は、生徒が、日本の国土を構成する主な島々や半島に注目し、日本地図を見直しながら、国土の形状等についての認識を深めることができる地図活用の工夫を紹介します。

授業でのワンポイント的な学習活動として、また、家庭学習の課題等として取り組ませるとよいでしょう。

“おかしな日本地図”の修正



1 いくつかの島や半島が描かれていない左のような“おかしな日本地図”を提示する。

2 “おかしな日本地図”に島や半島を描き足して修正させ、正しい日本地図を完成させる。



この日本地図には、おかしなところ（誤り）が10カ所あります。それを見つけて正しく書き直しましょう。

分からぬ場合
は、地図帳で調べて
確かめましょう。



上の日本地図のおかしなところは、次のとおりです。

- ① 拝島がない
- ② 知床半島がない
- ③ 下北半島がない
- ④ 佐渡島がない
- ⑤ 伊豆半島がない
- ⑥ 能登半島がない
- ⑦ 淡路島がない
- ⑧ 国東半島がない
- ⑨ 薩摩半島がない
- ⑩ 方位記号がない

不完全な日本地図を提示して、間違い探しをするクイズ感覚の学習活動を取り入れることにより、生徒が、興味をもって日本地図を見つめ直し、国土に対する認識を深める姿が期待できます。

今回紹介した "おかしな日本地図" のほかにも、いくつかの "おかしな日本地図" を作成し、修正する学習活動を繰り返し行なうことが、国土の形状等に対する認識を深める上で効果的です。

